

ゆうゆう通信

令和6年2月9日発行 第49号

発行 飯田市立病院介護老人保健施設
ゆうゆう 広報委員会
〒395-8503 飯田市上郷黒田341
電話 53-6048 FAX 53-6047



新年のぼけ挨拶

ゆうゆう施設長・高松診療所長

金子 源吾

令和6年の新年を迎え一言ご挨拶を申し上げます。
はじめに、ゆうゆうが本年もさわやかな新年を迎えることができましたことは、利用者様ならびにご家族様はじめ関係各位の日頃のご理解とご支援のおかげと心より感謝申し上げます。

今年も新年早々、能登半島地震が起きました。この災害で犠牲になられた方々にはお悔やみを申し上げますとともに、被害に遭われた方々にはお見舞いを申し上げます。そして、一日も早い復旧・復興を願っております。

さて、ゆうゆうでは今年以下6つの分野で目標掲げ、介護の質向上および業務の改善につなげていこうと考えています。①感染症対策をはじめ各種安全対策…新型コロナウイルス、インフルエンザ、ノロウイルスなど感染症対策の継続。新型コロナウイルス感染が日本で初めて診断されて、この1月で4年になりました。昨年5月に感染症法における5類になり、インフルエンザと同じ扱いになりました。ワクチンによる集団免疫の確立や抗ウイルス薬の開発・普及によって、ある程度感染がコントロールできるようになりました。しかし、もし施設内でクラスターが発生しますと利用者様の生命の危機にさらされます。幸い抗ウイルス薬などで回復できたとしても2次的な影響として病床や勤務体制の見直しが必要になり、介護の質が保てなくなってしまう。

引き続き、感染対策をしっかりとやろうと思います。そのほかの安全対策として、ハイリソビの法則を念頭において、インシデント・アクシデントレポートの分析による再発防止対策の徹底です。

②地域への貢献…昨年も認知症カフェを開催しました。今年もさらにもう1つ地域への貢献を考えて実行したいと思います。③コンプライアンスの遵守…職員には各種ハラスメントの防止に関連して2月に研修会を開きます。そのほか認知症、高齢者虐待防止や飲酒運転をはじめ交通違反・事故撲滅に今年も引き続き努めます。④災害対応…今年も防災・防火訓練を実施します。1月2日の日本航空機と海上保安庁機との衝突事故で訓練は大事であることが改めてわかりました。⑤働き方改革…職員が疲れていたのでは良い介護ができませんので、職員は働きすぎないように、勤務体制を工夫する必要があります。⑥健全経営…超強化型施設基準の維持を目指します。そのためには退所時指導、リハビリテーションの充実および地域貢献活動の実践などが必要です。健全経営のもとで必要な施設の充実を図っていききたいと思います。

以上、今年も地域に必要な良質な介護サービスを提供するという使命に向けて、皆さんと一緒に取り組んでいきたいと決意を新たにしています。令和6年が皆様にとりまして、明るく、希望に満ちた年になりますよう祈念しております。本年もどうぞよろしくお願ひ申し上げます。



クリスマス会 2階Aチーム

令和5年12月25日にクリスマス会を行いました。

サンタクロースが現れて歌いながらの体操をした後、「見上げてごらん夜の星を」を利用者さんと歌いました。受け持ち担当が利用者様一人一人の写真を撮って、クリスマスカードを作成し心ばかりのプレゼントとして利用者さんにお渡ししました。

サンタクロースから手渡されると笑顔を見られる利用者様も多く、飾り付けられカードを気に入っていただけでした。

クリスマスケーキをおやつに食べながら、隣の利用者様同士でカードを見せ合い「素敵。かわいい。今度会いに来てくれるで息子に見せなきゃ。」と話される様子もあり楽しい時間を過ごすことができました。



忘年会・餅つき大会 3階Bチーム

1年を締めくくるために、クリスマス会という「忘年会」を行いました。利用者様は、「スナックすみれ」に集合し、ミラーボールのある中懐かしの演歌、歌謡曲をマイマイクで歌いました。普段行事には消極的な方も懐かしのメロディーに、笑顔があふれていました。職員も前のウエディングドレスで「お嫁サンバ」を熱唱ダンスも披露してディナーショーのような雰囲気の中、楽しい時間を過ごすことができました。1月には、「餅つき大会」を行いました。杵と臼を見るだけでも利用者様は、ワクワクし話も弾みました。職員の手を借りながら、もちつきを行い、普段とは違う力強い姿を見せてくれました。お供え餅を作りながら、昔の話にも花が咲いていました。季節を感じる行事を行うたびにユニット内が和み、温かい雰囲気になっていきます。



クリスマス会 デイケア

デイケアでは12月18日〜22日までクリスマス会を行いました。作品づくりでは、クリスマスリースを一人ひとり作りました。好みの色の折り紙を選んでサンタクロースの形に折り、顔を書いて紙皿へ貼っていきます。そして周りに色とりどりの飾り付けをして完成です。様々な表情のサンタさんや色とりどりの飾り付けなど個性豊かなリースで仕上げられました。

続いておやつ時間です。コーヒー、紅茶など好みの飲み物を選んでいただきました。待ちわびていたクリスマスケーキの登場です。「程よい甘さだに」「もつと無いの?」と美味しく食べることができました。最後に職員によるハンドル演奏を行いました。「諸人こぞりて」「聖しこの夜」の演奏を行いました。最初は耳を澄ませて聞いてもらい、その後みんなで歌いました。「良かったに」「アンコール!」など、大いに盛り上がる事ができました。ステキな雰囲気の中、楽しいひと時を過ごすことができました。



2階Bチーム お正月

新年を迎え、駅伝の行方をずっと見ている方、新年の新聞をくまなく目を通す方、職員もちよつと腰を下ろし一緒にお茶を飲んだり、普段の日常よりゆったりした時間が流れました。ゆうゆうのお正月といえば巨大だるまに見守られながらの「ゆうゆう神社」への参拝。深く頭を下げしつかりお参りする姿がありました。何をお願いしたのでしょいか。その後はおみくじ。大吉を引く方が多い中、まさかの凶を引いてしまった利用者様。周りの皆さんとそれを吹き飛ばすくらいの大笑いをして、次は無事大吉を引き当てることができました。昼食では96歳年女の利用者様に一言と乾杯の音頭を取って頂き、お刺身をはじめとした普段より品数の多いお正月料理を楽しみました。多くの利用者様に残さず召し上がっていただけました。今年も元気に過ごせるお手伝いができるよう丁寧なケアに努めていきたいと思ひます。



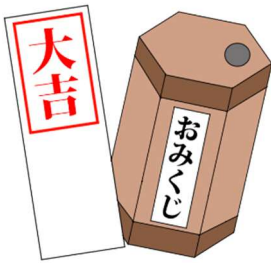
3階Aチーム 新年会

新年を迎え、気持ちもあらたにたんぽぽユニット入口をバックに富士山を眺め、手作りのお社を参拝しました。

神妙な顔つきで深く頭を下げ、一年健康で過ごせますようにと声を出してお願いをする姿がありました。お社でおみくじを引き大吉、大大吉、中吉、小吉と色々なくじをひくことができました。

お茶後は利用者様がカルタを読み、他の利用者様がカルタをとり盛りあがることができました。

今年も龍年ですね。皆様が龍のように元気で過ごせることができるよう、心を込めてケアを行っていききたいと思ひます。



デイ お正月行事

デイケアでは新年慣例の「新春書初め」を行いました。筆ペンではなく墨と筆で今年の干支である「辰」の文字や「新年」「はる」等のほか、今年も努力して今の状態を維持したいからと「努力」と書く方もいました。それぞれお手本を見ながら、またはご自分の思いを文字にされる方もいて「書けない」と言われながらも何枚もご自分が納得いくまで集中して書いていました。中には利き手が病気で使えない方もいますが反対の手で大きく力強い文字を書いていて敬服してしまいます。ご家族に今年もきれいな書が書けていたとお伝えすると「昔は決してきれいな字ではなかったと記憶しているけど自分で努力したんだと思ひます」と話してくださいました。利用者のお人柄も感じる貴重で楽しい時間となりました。





なかよし保育園より野菜を 寄付していただきました

師走の初日、上郷なかよし保育園の元気な園児の皆さんが、自分たちで愛情込めて育てた、「白菜」と「キャベツ」を収穫し、ゆうゆうご利用の皆様へ「食べて元気になってください。」と野菜の寄付をしてくださいました。

大きく立派な野菜は、子供たちが力を合わせて運んでくれました。いただいた野菜は、毎日の給食に使わせていただき、利用者の皆さんはおいしいおいしいと言って、いただきました。園児からの心温まるプレゼントで季節の恵みを感じ、心温まるひとときを楽しむことができました。

ヨイショ、
ヨイショ



メニュー紹介

元日 今年の元旦メニュー

今年の元日の献立についてご紹介します。元日は例年、普段の食事では提供できないような特別な献立の提供を行っています。昼食のメイン献立「元日皿盛り」は、特別感を感じられるように盛り付けも工夫しています。「元日皿盛り」は、松風焼き、厚焼き玉子、昆布巻き、ゼリーを一皿に載せています。お正月の特別感を出すため、和柄のアルミカップに松風焼きを乗せ、厚焼き玉子には寿印のあるものを使用しました。松風焼きは利用者様からのご意見を反映し、あんをかけて提供しました。また、利用者様の中には咀嚼や飲み込みが難しい方もいらっしゃるため、昆布巻きは昆布をペースト状にして成形したやわらかい製品を使用しています。ゼリーは彩りも考慮し、今年は杏ゼリーをお出ししました。食べやすさに配慮しながら、食事から季節を感じていただけるような献立づくりに今後取り組みたいと思います。



りんごを寄贈していただきました

今年も、シチズン時計マニユフアクチャリング株式会社飯田工場様と中日本高速道路株式会社名古屋支社飯田保全・サービスセンター様から、それぞれの敷地で丹精込めて管理された美味しいりんごをたくさんご寄贈いただきました。いただいたりんごは、ゆうゆうご利用者のデザートとして大変喜ばれております。りんごの甘さと新鮮さが口いっぱい広がり、利用者の皆さんは笑顔に包まれました。これからも、地域との絆を大切に、共に豊かなひとときを作り上げていければと願っております。



編集後記

今年も年初から能登半島の地震があり、家族旅行で訪れた「のどろ水族館」や「和倉温泉」も被害が大きいとの事で大変ショックを受けています。今は被害に遭われた方が早く元の生活に戻れることを祈るばかりです。(柴)